

# 用語の解説

本シラバスに用いられている用語の意味は次のとおりです。

## 1. 授業科目区分

授業科目は、基盤教育科目及び専門教育科目のいずれかに区分されます。

基盤教育科目は、現代社会に必要なリテラシー、幅広い教養と豊かな人間性、専門教育を学ぶ上での基盤的素養を身につけるための教育を目的としています。

専門教育科目は、学部学科等の専攻に係わる授業科目として開設しているものです。

## 2. 開講時期

開講時期は、前期、後期、通年の3区分によって表示しています。

前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から3月31日まで、通年は4月1日から3月31日までです。

## 3. 曜日及び時限

当該授業科目が開講される曜日と時限を表示しています。(集中講義の形態で行われる授業や不定時に行われる授業もあります。) 授業の時間は、次のとおりです。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限	8時限	9時限	10時限
8:40	9:25	10:20	11:05	12:40	13:25	14:20	15:05	16:00	16:45
～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
9:25	10:10	11:05	11:50	13:25	14:10	15:05	15:50	16:45	17:30

多くの授業は2時限つづきで行われます。例えば、3～4の表示は3時限と4時限に授業が行われることを意味します。7～9、7～10のように3時限つづき、4時限つづきで行われる授業もあります。

## 4. 対象標準年次

当該授業科目の受講が最も望ましい学年を表示しています。これは、あくまでも標準年次ですから、それ以外の年次で履修することを禁ずるものではありませんが、他の授業科目との関係や教育的効果を配慮して決められているものですから、できるだけ対象標準年次に履修できるような履修計画を作成することを勧めます。

## 5. 授業方法の別

授業は、講義、演習、実験、実習及び実技のいずれかにより又はこれらの併用により行われます。ここでは、その主たる方法が示されます。

## 6. 単位数

当該授業科目を履修した場合に修得できる単位数を表示してあります。

1単位は、授業や自習(予習・復習)をすべて含めた45時間の学修を標準としています。45時間の学修のうち授業の占める時間は、講義及び演習は15時間から30時間までの範囲内の授業時間数、実験、実習及び実技は、30時間から45時間までの範囲内の授業時間数で設定されています。

## 7. 時間割コード

電算機処理のため、各授業科目を記号と数字の組み合わせによるコードで表示しています。履修登録等にはこの時間割コードが必要です。

## 8. 担当教員

当該授業科目を担当する教員名を表示しています。また、授業科目を多数の教員が担当する場合は、代表者名を表示しています。

## 9. 電話番号, e-mail アドレス, オフィスアワー

代表者のみ表示しています。オフィスアワーは、教員が研究室等に待機し皆さんの質問に対応する制度を言い、場所の表示がない場合は各教員研究室で行います。

## 10. 授業の概要

### (1) 授業の内容

授業を通じどのようなことを学ぶかを記述しています。

### (2) 授業の到達目標

どのような能力を身につけるかなど、授業の具体的な到達目標を記載しています。

### (3) 学習・教育目標との関連

学科等が定めた卒業時の学習・教育目標や達成目標の中で、どこに関連するかを記載しています。また、“教員養成の観点”や“J A B E E の学習・教育目標への対応”は、ここで記載しています。

### (4) 前提とする知識, 関連する科目等

受講する上で必要となる基礎科目や予備知識, 関連する科目等について記入しています。

### (5) 授業の具体的な進め方

授業の包括的な説明や進行説明, 授業時間外の学習（予習・復習等についての説明については、どのようなことに重点を置いて予習・復習等を行なったらよいか、など授業の具体的な進め方について記述しています。

### (6) 授業計画

定期試験等を除いた15週にわたる授業内容のスケジュールを具体的に記入しています。

### (7) 教科書・参考書・教材等

受講するに当たって必要な教科書・参考書・教材と入手方法等を記載しています。

教科書は、授業で毎回使用する本を、参考書は、授業の内容をより深く理解するために必要な本を重要度の高い順に、記載しています。

教材は、上記のほか授業を受けるに当たって学習上必要とされるもので、入手方法等についても合わせて記載しています。

### (8) 成績評価

成績評価をどのようにして行うかを記載しています。

なお、次頁に GPT・GPA 制度及び学士課程における成績評価基準に関する申合せについて記載してありますので参照願います。

### (9) 学習上の助言

学生への学習上の助言を記入してあります。

※ このほか、卒業の要件や資格の取得等に関することは、宇都宮大学履修案内を参照してください。